

一般質問発言通告書

議席番号 3 番

氏名 大谷 学

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 県立大学を生かしたまちづくりについて

(1) 県立大学が浜田市に及ぼす経済的効果について

- ① 1993年に島根県立国際短期大学が開学し、2000年に県立大学に移行して、野原町に大学が設置され30年が経過する。現在、約1000人の学生が学び、教職員約100人で運営されている。この約1100人を含めた県立大学が浜田市全体に及ぼす経済的効果は何億位と推定するか、その認識を伺う。

(2) 大学周辺のまちづくりについて

- ① JR出雲市駅の南側約2kmの田畑の中に1975年に設置された国立島根医科大学（現在は島根大学医学部）周辺は、設置から47年が経過することによって田畑から街へと大きく変容し活気を呈している。
この例のように大学が設置されると、その周辺は街へと変容していくのだが、浜田キャンパスの場合は30年が経過してコンビニもなく変容に至っていないように感じる。この現状をどのように受け止めているか、その認識を伺う。
- ② 変容に向けて何が求められるか、その認識を伺う。

2 豊かな創造力を育む文化行政について

(1) 策定中の第3次浜田市子ども読書活動推進計画について

- ① 令和4年度に策定する予定の第3次子ども読書活動推進計画においては、どのような読書活動の環境整備をしようとしているのか、その改善点を伺う。

(2) ガラスを多用している中央図書館の設計コンセプトについて

- ① 中央図書館を浜田警察署側から見ると、アルファベットの大文字のEの字のような平面構造で、アルファベットの大文字のEの字の横線にあたる浜田川方向に突き出した3つの開架図書室は、東南西の3方向がガラス壁面で囲まれている。なぜ、このようなガラス壁面を多用する設計にしたのか、確認のため理由を伺う。

(3) 図書館の蔵書管理について

- ① 図書の中には時間の経過により歴史的資料になり得るものがある。また、希少性が増すことによって将来においては、文化財級の価値を見いだす可能性もある。
よって、図書は、光によって劣化しないように配慮すべきであるが、特に中央図書館の場合は、太陽光の遮光板もなく蔵書に太陽光が直接もしくは間接的に当たり、色落ちなどの劣化が激しい状況にある。早急な対策が必要と感じるが認識を伺う。
- ② 利用者からの改善に向けての意見は、どのように集約され対応しているのか、その体制について、その現状を伺う。